

# KOA オリーブ大学・開校（新設）

## 第1期生募集案内・事前説明会

### 目次

- I. なぜオリーブ栽培なのか？
  - 1. 時代背景・流れについて
  - 2. オリーブのもつ魅力
  - 3. 市場の成長性と社会貢献
  - 4. 本校でのオリーブ栽培技術修得のメリット
  
- II. データベースの目的と概要について
  - 1. 目的
  - 2. 概要
    - (1) オリーブ栽培技術体系思考
    - (2) Web・栽培生データベース化のイメージ
  
- III. KOA オリーブ大学・開校について
  - 1. 理念・位置づけ
  - 2. コース概要
  - 3. カリキュラム
    - (1) 狙い・養成目標・仕上り像
    - (2) 研修科目
    - (3) スケジュール
    - (4) 受講諸費用
  - 4. 卒業後の資格
  - 5. 意見交換



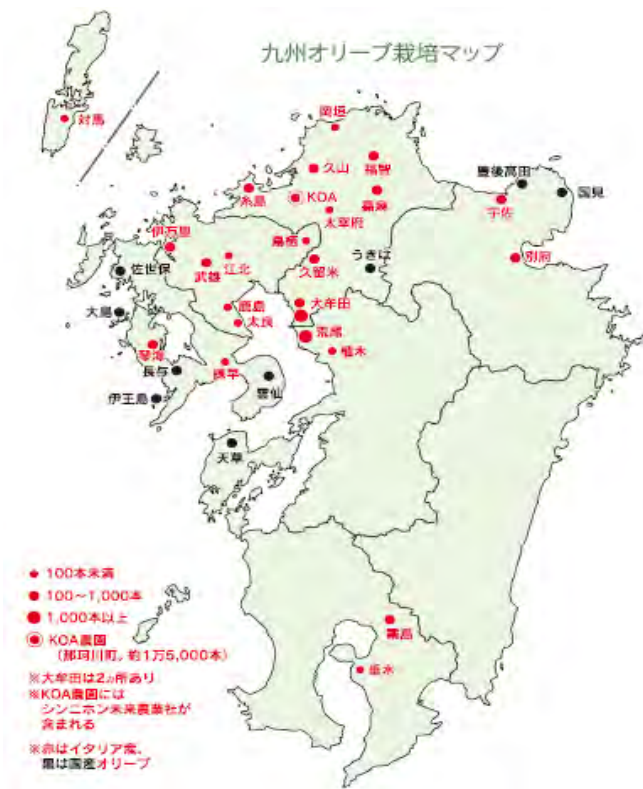
(一般社団法人)九州オリーブ普及協会 (KOA)

<http://kyushu-olive.or.jp/>

## I. なぜオリーブ栽培なのか？

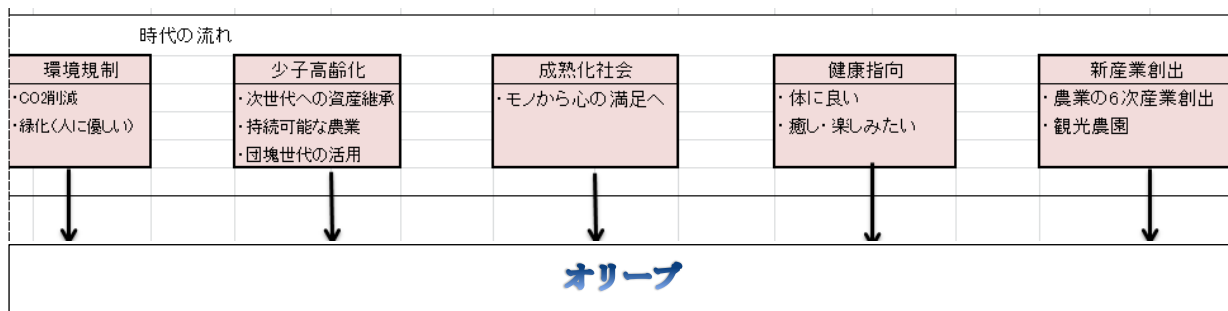
現在、九州各地でイタリア・トスカナ産オリーブが植樹され、生き生きと成長しています。KOAは、オリーブの木を植えて、九州を元気にしたい。故郷ににぎわいを取り戻したい。それには九州に100万本のオリーブの木を植え、九州を東洋一の島に！！と考え実践をはじめました。

図1 九州オリーブ植樹マップ



### 1. 時代背景・流れについて

現在の日本に求められている主要テーマ



- ◇ 『環境規制』 : 地球温暖化防止 → CO2 削減 ⇔ オリーブ樹 CO2 吸収
- ◇ 『少子高齢化』 : シニア・団塊世代の仕事づくり ⇔ オリーブ植樹&果実採取・商品化  
(次世代への資産継承、持続可能な農業)
- ◇ 『成熟化社会』 : ものから心の満足へ ⇔ 平和の象徴・鑑賞・観光
- ◇ 『健康指向』 : 体によい、癒し・楽しみたい ⇔ 鑑賞・オリーブオイル・化粧品等
- ◇ 『新産業創出』 : 農林魚の6次産業化 ⇔ +加工業+観光業+飲食業

## 2. オリーブのもつ魅力

オリーブ	
	
オリーブの樹	
分類	
界	植物界 Plantae
門	被子植物門 Magnoliophyta
綱	双子葉植物綱 Magnoliopsida
目	ゴマノハグサ目 Scrophulariales
科	モクセイ科 Oleaceae
属	オリーブ属 <i>Olea</i>
種	オリーブ <i>O. europaea</i>
学名	
<i>Olea europaea</i>	
和名	
オリーブ	
英名	
Olive	

図 3 オリーブ

- オリーブの枝は、ハトと共に平和のシンボル
- オリーブの樹は、長寿命(1000年以上もあり)
- オリーブ加工品は、健康によい。
- オリーブ植樹により町づくりと世代間の継承ができる。
- オリーブ加工商品化により幅広い産業(6次産業化<sup>1)</sup>)ができる。
- オリーブ植樹は、耕作放棄地、遊休地の活用ができる。
- オリーブは、特に女性に人気がある。

## 3. 市場の成長性と社会貢献

- 健康指向化で、オリーブオイルの消費拡大の流れになっている。
- 又、果実としての食用や化粧品などへの用途開発も進んでいる。
- 国内のオリーブ植樹は、小豆島のみで耕作可能地が限界に達しつつある。
- KOA では、九州を東洋一のオリーブの島に！！と考え、実践によりコミュニティー社会、シルバー・団塊世代の生きがい、若い人の雇用の場の創造に貢献したいと考えています。
- KOA では、その基本知識の集約によりお困りごと相談と人材育成センターとしての役割をはたしてまいりたいと考えています。

### シンボルとしてのオリーブ [編集]

オリーブの枝は、ハトとともに平和の象徴とされることが多い。これは「旧約聖書 えて帰ってきた。これを見たノアは、洪水が引き始めたことを知った。」との一節 [国際連合旗](#)や、幾つかの国の [国旗](#)や [国章](#)にも使われている。イタリアの政党連 日本では、[香川県](#)の県の木、県の花に指定されている。



図 2 平和のシンボル・オリーブ

#### 4. 本校でのオリーブ栽培技術修得のメリット

- 九州にはオリーブ栽培技術を指導できる人材がないため、ビジネス先駆者になれる。
- 農林業の6次産業化政策の推進指導人材への展開が図れる。
- オリーブ植樹ビジネスを通して地域活性化による社会貢献や企業のCSRに貢献できる。
- ISO9001・品質マネジメントシステム（トレーサビリティなどの問題解決手法）の考え方を学べる。<sup>iii</sup>
- ISO14001・環境マネジメントシステムの考え方を学べる。<sup>iv</sup>
- KOA・「生データ・トラブル情報」データベースへのアクセスができる。
- 「KOAオリーブ栽培技術員資格認定」登録により、オリーブ育成技術指導や苗木販売の仲介ができる。

## II. データベース化の目的と概要

### 1. 目的

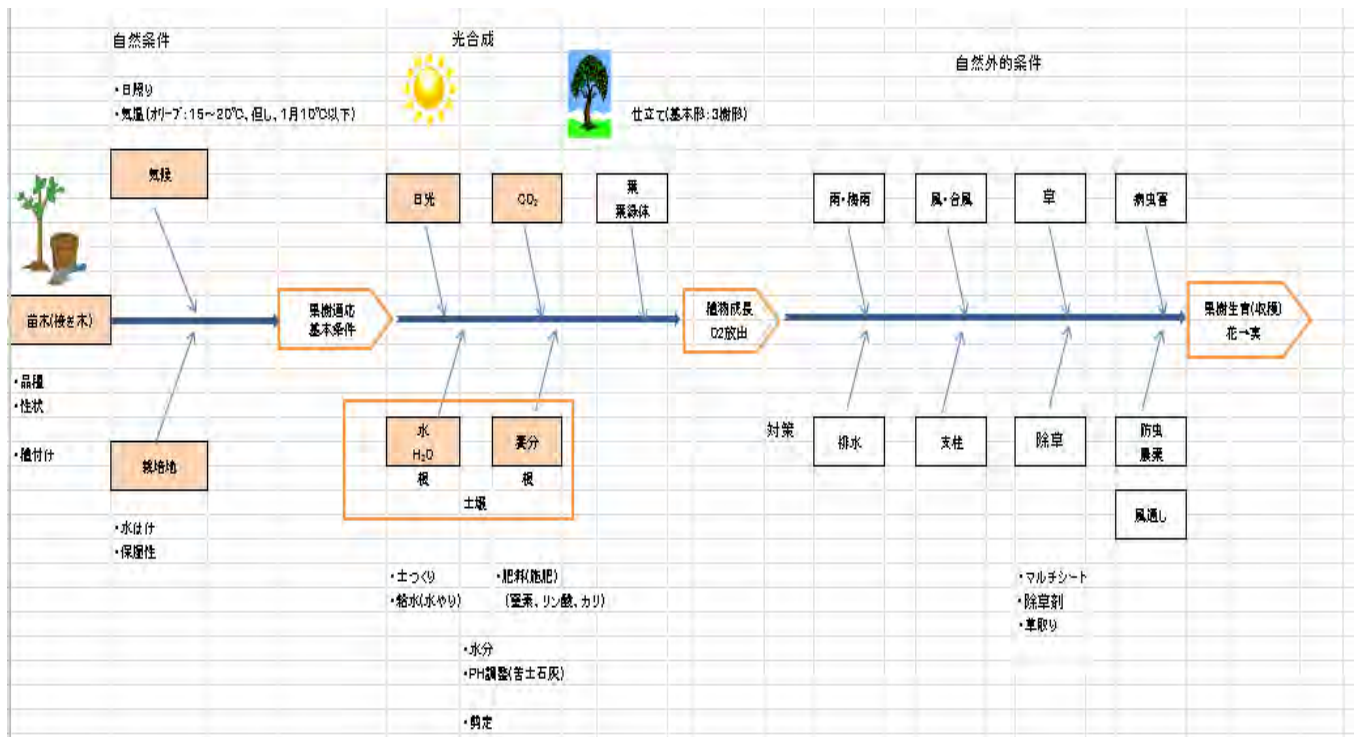
- (1) 栽培苗木の各地育成状況の生データ（トラブル含む）を要素ごとに情報収集・フィードバックを行うことにより栽培者問題点の解決と改善を図る。
- (2) 同上Webデータベースは、アクセスすることによりデータの閲覧と意見交換の場を提供する。

### 2. 概要

#### (1) オリーブ栽培技術体系思考

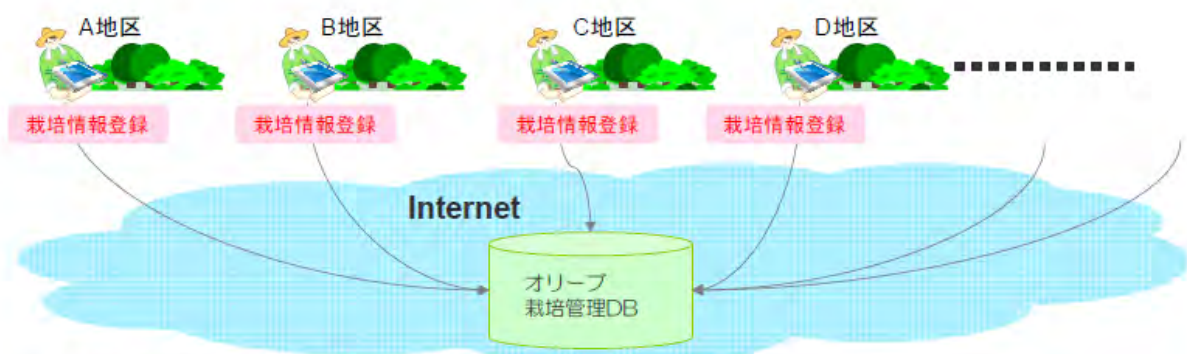
データベース構築に当たっては、技術体系の要素に基づきデータ収集を行い、問題点の分析・評価が容易な仕組みとする。（ISO9001・トレーサビリティが行える仕組み）

図4 オリーブ栽培技術体系図



## (2) Web・栽培生データベース化のイメージ

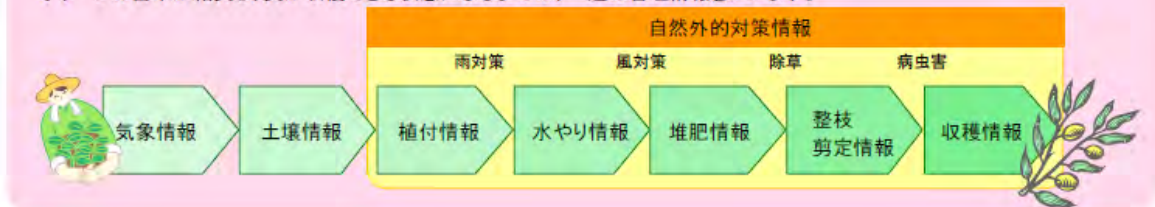
### 1. オリーブ栽培情報登録イメージ



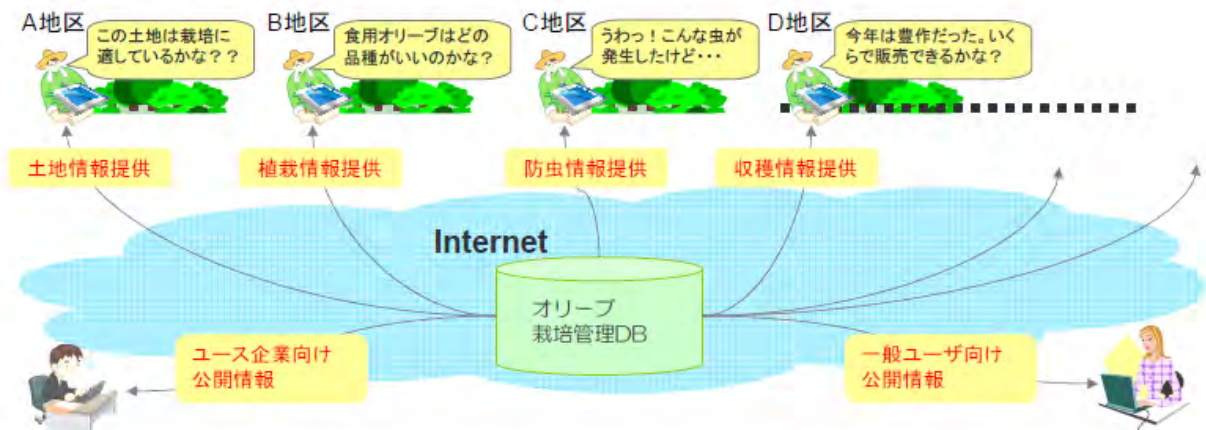
各地区の担当栽培技術員が、オリーブの栽培情報を登録します。

ここで言う栽培情報とは・・・

オリーブの苗木が結実し、実が収穫できる状態になるまでの、一連の管理情報をいいます。



### 2. オリーブ栽培情報活用イメージ



オリーブ栽培管理DB活用のメリット

- ◆各地区の栽培技術員は、栽培情報管理DBにアクセスし、他地区でのケーススタディを参照できる。
- ◆各地区の栽培技術員は、他地区栽培技術員とのコミュニケーションを図ることができる。
- ◆実を収穫するまでの技術情報を共有することで、栽培ノウハウの樹立を目指す。
- ◆ユース企業向け情報を公開することで、オリーブ流通経路のイニシアティブを握る。
- ◆一般ユーザ向けの情報を公開することで、オリーブへのイメージアップを図る。

### Ⅲ. オリーブ大学・開設について

#### 1. 理念・位置づけ

「KOA は、オリーブの木を植えて、九州を元気にしたい。故郷ににぎわいを取り戻したい」との理念達成のため、オリーブ栽培技術者等の人材育成並びにオリーブ技術の確立を目指す。

#### 2. コース概要

- 「栽培技術者養成」1年間コース：「座学＋実習＋視察」
- 募集定員： 20名

#### 3. 教育カリキュラム

##### (1) 狙いと養成目標・仕上り像

オリーブ栽培を指導できる人材不在の実態から、一貫したオリーブの体系的栽培の基本技術の修得並びにトラブル対応、トレサビリティ等の品質マネジメントに関する処置法や情報処理法の考え方と実践について学び、一定の「栽培技術指導」ができる水準とする。

##### (2) 研修科目

- オリーブの基礎知識  
(オリーブの性状、世界のオリーブ、日本のオリーブ、栽培上の留意点／栽培条件)
- オリーブ栽培管理
- オリーブ栽培の経営
- 品質マネジメントシステム概論／関連抜粋とトラブル処置法 (ISO9001)
- 環境マネジメントシステム概論／関連抜粋 (ISO14001)
- データベースアクセス概論／関連抜粋

##### (3) スケジュール

- 2012年 2月入学～12月卒業
- 2013年 1月：資格認定・登録手続き
- 概略年間研修計画：表1によります。

##### (4) 受講諸費用

別紙によります。

表 1 概略年間研修計画一覧表

	2・3月	5月	9月	11月	実施場所
座学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホップの基礎知識 1/1</li> <li>・ホップ栽培管理 1/3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホップ栽培の経営 1/2</li> <li>・ホップ栽培管理 2/3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホップ栽培の経営 2/2</li> <li>・ホップ栽培管理 3/3</li> <li>・品質 MS 概論 1/2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質 MS 概論 2/2</li> <li>・DB アクセス 1/1</li> <li>・環境 MS 概論 1/1</li> </ul>	
実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>定植</li> <li>剪定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受粉</li> <li>肥料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新漬</li> <li>商品化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実採取</li> <li>搾油</li> </ul>	
視察	4回				

#### 4. 卒業後の資格

- 「KOA ホップ栽培技術員資格認定」書授与
- ◇ 栽培データベースへのアクセスが自由にできる。
- ◇ 同上における会員相互情報交換ができる。
- ◇ 卒業後の研修に参加できる。

※登録費用については、別紙によります。

#### 5. 質問・意見交換

- 
- i 6次産業化：平成23年3月1日に「地域資源を活用した農林魚者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」（6次産業化法）が施工された。
  - ii CSR: (Corporate Social Responsibility) 企業の社会的責任で、「環境対策」と「コンプライアンス」が大きなテーマである。
  - iii ISO9001 とは、国際規格で品質マネジメントシステムをいう。外部に情報公開された品質保証の仕組みと実施により社会的な責任を果たす。不具合対応については、トレスビリティーにより原因を追究特定して再発防止対策を実施することにより責任を果たす事に特徴がある。近年、農業分野にも導入の動きがある。
  - iv ISO14001 とは、国際規格で環境マネジメントシステムをいう。外部に情報公開された環境保証の仕組みと実施により社会的な責任を果たす。